



証券コード：9913

中期経営計画 2028

2026年 8月24日

日邦産業株式会社

代表取締役社長

岩佐 恭知

1. 長期ビジョン（全体像）



■「長期経営目標2031」のビジョンと方針

※2024年11月5日に公表した「長期経営目標2031」は、以下URLをご参照ください。
<https://www.nip.co.jp/ir/.assets/vision2031.pdf>

当社の 目指す姿

「異色ある価値」の創造で、お客様のものづくりの進化と、持続可能な社会の実現を支えるエッセンシャル・カンパニーへ！

基本 方針

メーカー事業の売上高
構成比を2/3超へ拡大

Ecoプロダクトを
第4の事業の柱へ成長

積極的な
成長投資の実行

当社の 強み



お客様の技術課題に
向き合う営業スタイル



磨き・高めてきた
QCD



当社のアイデアを起点とする
新しい製品・商材・サービス

■ 中期経営計画の位置づけ

中期経営計画
2025



中期経営計画
2028



中期経営計画
2031

単年ではなく中期（3ヵ年）の各累計単位で持続的な成長を計る

フ ェ ーズ

- ✓ 新たなビジネスモデルの構築を通じて開発してきた「新製品・新商材」の積極的な販促活動を展開する期間

- ✓ より付加価値の高い「異色ある価値」を創造し、当社の **新たな強み** を確立する期間
- ✓ 更なる事業領域の拡充により、**一段高い成長** を規模と収益の両面において実現する期間

2. 中期経営計画2025の結果

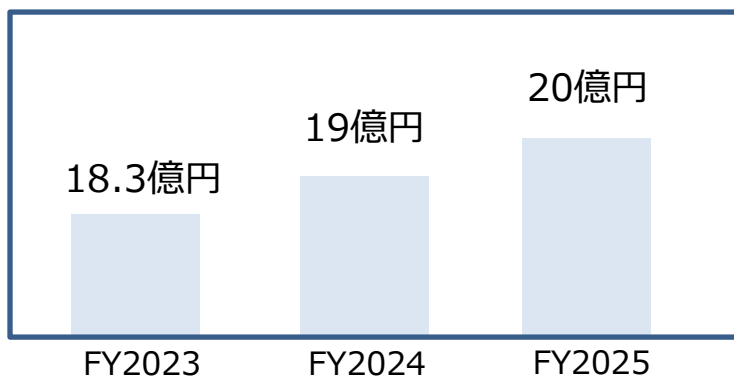
- ROE（自己資本利益率）は目標に対して未達となったが、営業利益は目標として掲げた20億円/年を達成し、3年連続で過去最高益を更新！ 配当はキャピタルアロケーションの方針に基づき、最終年度に特別配当を実施！

目標

(2023年5月19日開示)

3カ年累計 連結営業利益：**57.3億円**

営業利益



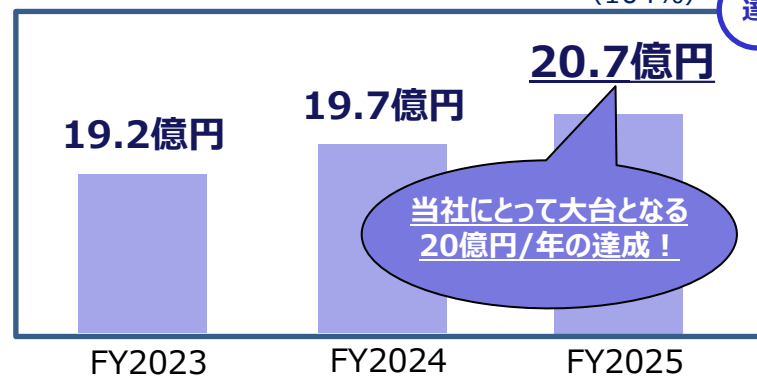
ROE

(自己資本利益率)

3カ年平均：10%以上

実績

3カ年累計 連結営業利益：**59.6億円**
(104%)



達成

10.7%

8.9%

8.3%

3カ年平均：9.3%

未達

※ 「中期経営計画2025」で掲げたROEの目標および実績は、自己資本利益率の値となります。

(1株当たり配当金)

配当

74円

76円

78円

配当性向

50%を目途

74円

76円

154円 ※

45.5%

49.0%

96.7%

※ FY2025の配当金は、普通配当78円に特別配当76円を加えた金額となります。

3. 中期経営計画2028 -基本方針



1

定量目標値の達成

本業の利益である「**連結営業利益**」と株主資本効率を示す「**ROE**」を経営指標に定め、「ROE」を「自己資本利益率」から、より企業の本質的な収益力が反映される「**株主資本利益率**」にあらためた上で目標を設定し、これを達成することで中長期的な企業価値を高めていく

2

事業ポートフォリオマネジメントの深化

外部環境の変化と、当社が保有する強みとリソースを見極めながら、**成長性と収益性の高い主力事業**へ機動的に経営資源の配分を見直していくことで、持続的な企業成長を実現していく

3

積極的な成長投資の実行

メーカー事業の拡大に向けて、各セグメント及びEcoプロダクツの更なる事業成長に資する成長投資を積極的に行い、資本コストを超えるリターンを創出していくことで、持続的な企業成長を実現していく

4

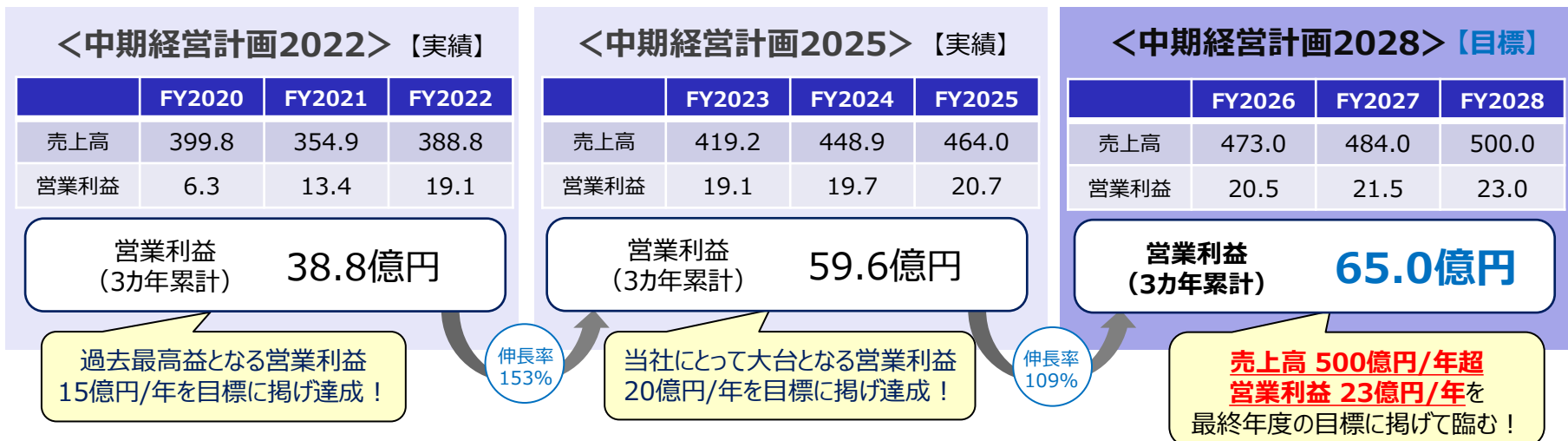
人的資本経営の強化

「**異色ある価値創造**」を担う人材強化と「**生産性向上**」への人的資本投資により、企業価値の向上と、更なる人的資本投資への好循環を実現していく

4. 中期経営計画2028 - 定量目標

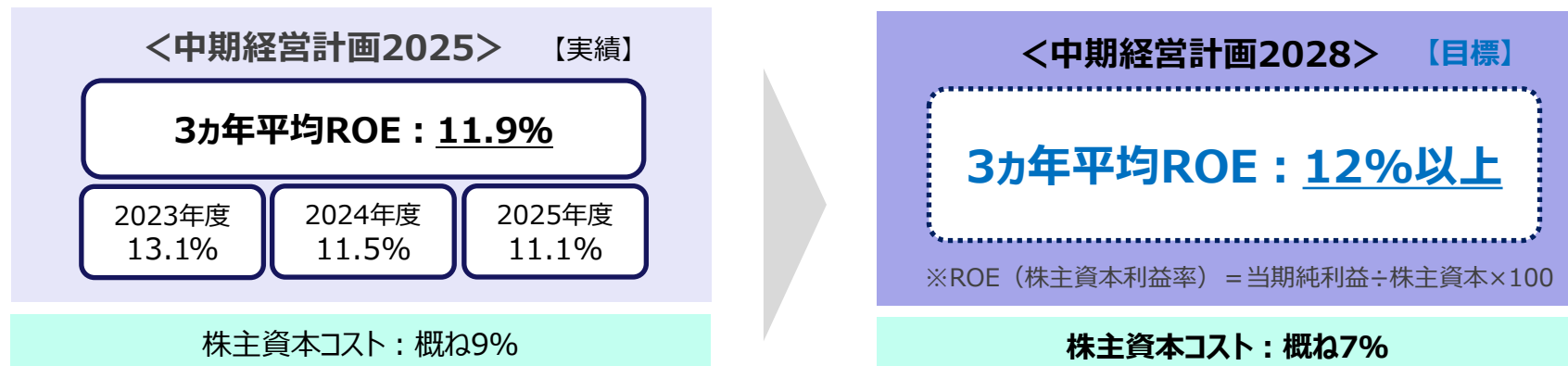
■ 連結営業利益の3カ年累計額

(金額：億円)



■ 株主資本効率を示すROE

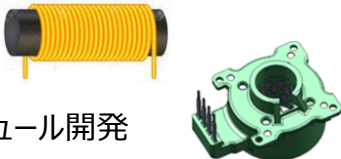
※ROEを「株主資本利益率」にあらためた実績および目標値としております。



積極的な成長投資の実行と株主還元のバランスを図りつつ、株主資本コストを上回るROEを持続的に実現していく！

5. 中期経営計画2028 -事業ポートフォリオ

■ 各セグメントの主力事業・成長事業へ経営資源を投入

	成長ドライブ	主力事業・成長事業の取組み
エレクトロニクス	生成AI関連需要 × 半導体・配線板部材	- 半導体材料、配線板材料の安定供給対応 - メーカー事業の強化 ・ウエハ研磨キャリア事業の生産能力増強 ・フィルム加工事業のラインナップ拡充、等 
モビリティ	マルチパスウェイ対応 (内燃機関の継続) + ブレーキ関連部品	- 生産レイアウトの調整による燃料噴射部品の需要対応 - 回生協調ブレーキ、ABS関連の新規部品の量産拡大 - CASE領域（センサー関連、電磁制御関連）のキーモジュール開発 
医療・精密機器	新規顧客開拓 × 医療機器 キーモジュール開発	- 医療ディスプレイ製品の新規受注展開 - 医療ロボット用ユニットの受注拡大 - 生体適合部材の開発 
Ecoプロダクツ	環境配慮型素材 LIMEXペレット + 空気電池関連の事業開発	- ベトナム工場でのLIMEXペレット量産化 - 水素エネルギー関連商材の拡販と空気電池用「電極」+ 次世代空気電池の開発 

- ✓ 各セグメントにおける営業利益（額）の成長に貢献しない事業、時間の経過とともに貢献が見込めなくなる事業から縮小・撤退を図る
- ✓ また、材料コスト、労務費、動力費等の上昇による収益性の悪化が改善されない製品についても見極めを図る

6. 中期経営計画2028 -投資計画

■ 現行事業の維持・更新投資

- ✓ 各年度における減価償却費の範囲内で計画

■ 成長投資

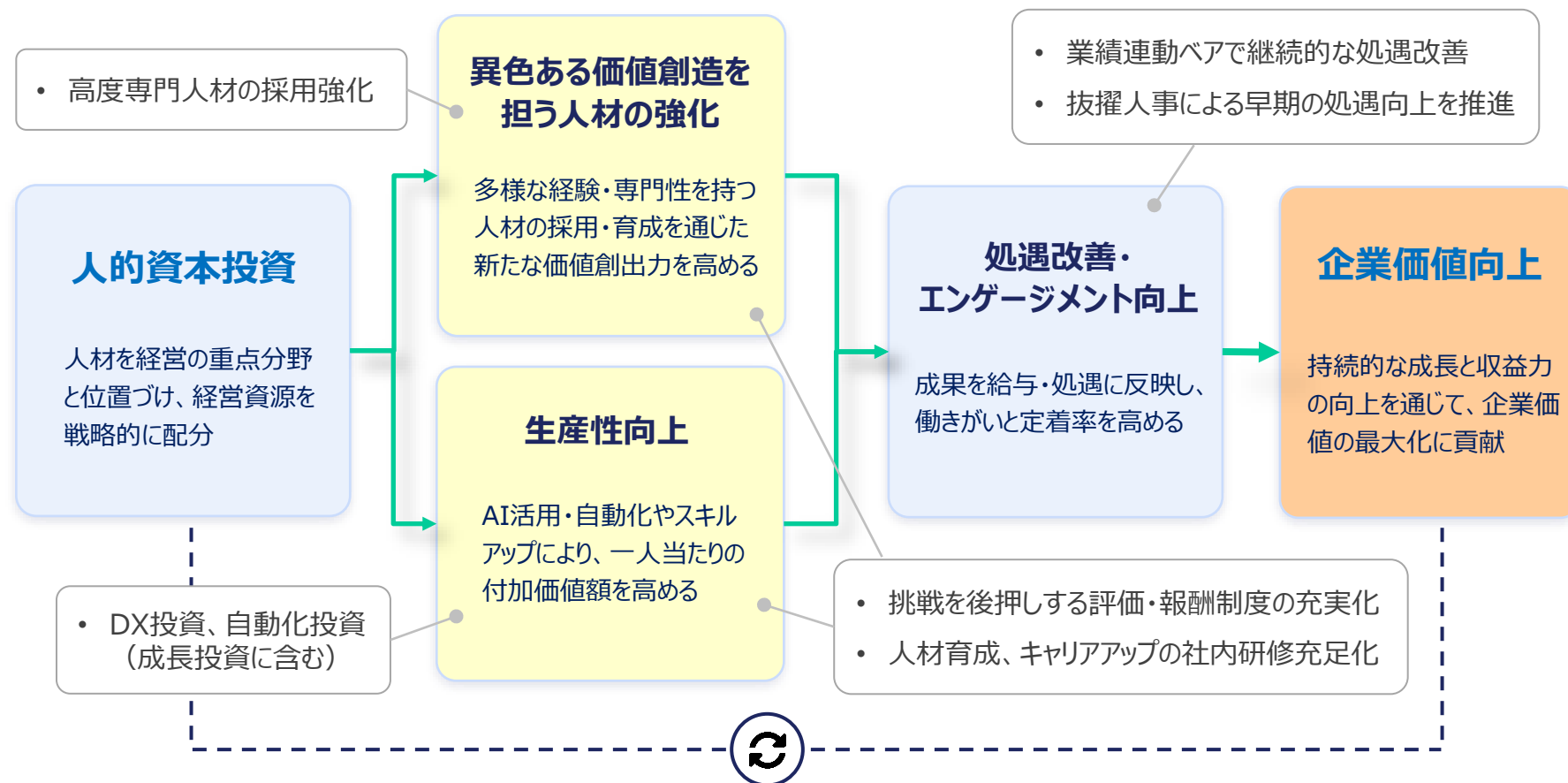
- ✓ 「中期経営計画2028」の期間中で創出するキャッシュを有効に活用し、事業ポートフォリオに沿ったメーカー事業拡大への成長投資と成長基盤への投資を計画

成長投資の主な使途			計画枠
メーカー事業の 拡大に向けた 投資	エレクトロ ニクス	- ウエハ研磨キャリア事業の生産能力増強 - 自社企画製品（プロセス治具）の開発	成長投資の計画枠 40億円+α
	モビリティ	- 燃料噴射部品の生産能力増強 - 新規ブレーキ部品の製造ライン追加	
	医療・ 精密機器	- 医療機器モジュールの開発 - 自動化設備	
	Eco プロダクツ	- 水素エネルギー関連製品の開発 - 空気電池関連事業の立上げ準備	
成長基盤への投資		- 研究開発設備の追加 - DX投資（工場のIoT化、AI活用等）、他	
M&A、アライアンス等		上記以外の各セグメントの「機能強化」に必要な投資を実行する場合は、「長期経営目標2031」で定めた財務規律に基づいて機動的に実行していく	

現行事業の維持拡大と事業成長に必要な投資を厳選しながら実行し、資本コストを上回るリターンを創出していく！

7. 中期経営計画2028 –人的資本

- 「異色ある価値創造」を担う人材の強化と、「生産性向上」へ経営資源を戦略的に配分し、
処遇改善とエンゲージメント向上の成果を、更なる人的資本投資へ再循環！



人的資本投資と企業価値向上の好循環

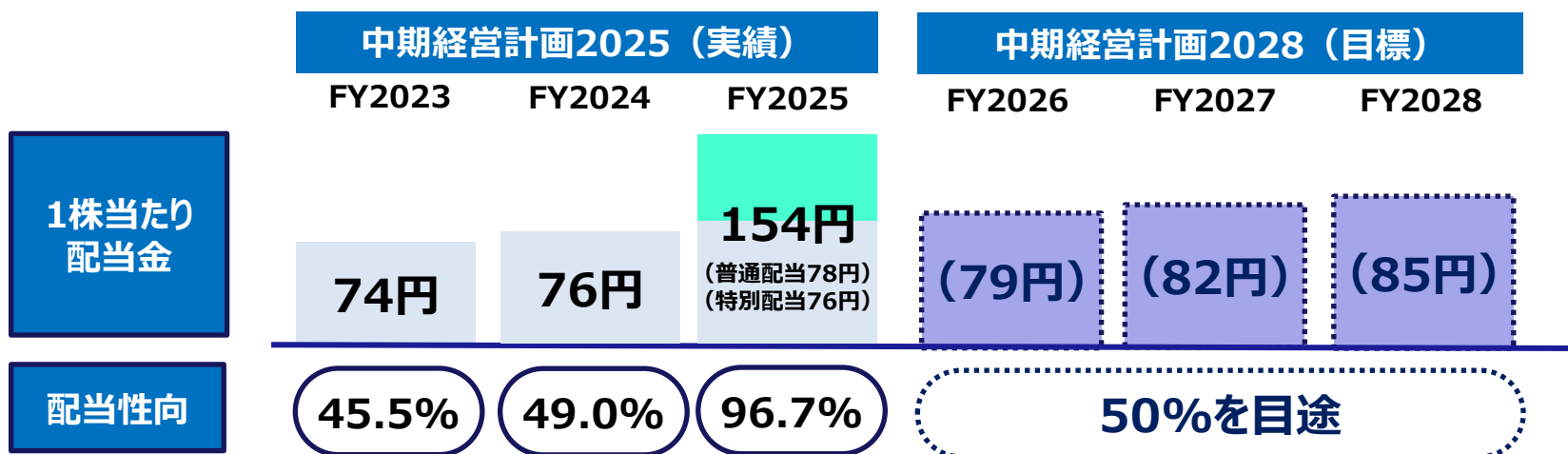
8. 中期経営計画2028 -株主還元

■ 株主還元の基本方針

- ✓ 金銭配当を株主還元の柱に置き、「持続的な利益成長に合わせた増配」を基本方針として定め、配当総額、配当性向ともに持続的に向上させていくことを目指す

■ 中期経営計画2028における株主還元の目標値

- ✓ 本期間内は、配当性向を「50%を目途」として、継続的に増配していくことを目標に置く

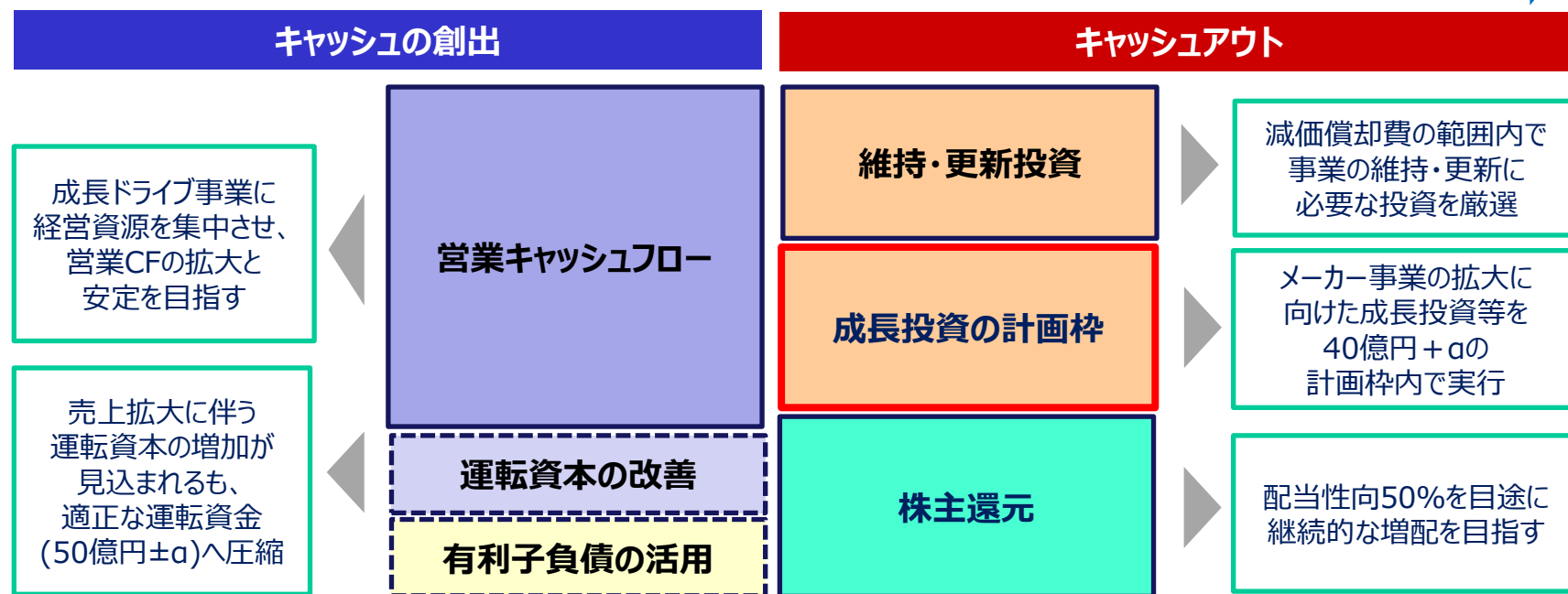


9. 中期経営計画2028 - キャピタルアロケーション

■ 「中期経営計画2028」におけるキャピタルアロケーションの考え方

- ✓ 創出したキャッシュを、事業ポートフォリオに沿った積極的な成長投資に有効活用し、継続的な増配による株主還元を実行していくことでネットキャッシュの改善を図り、持続的な企業成長と企業価値の向上を目指す

中期経営計画2028期間内（3カ年）



+

FY2028終了時において、FY2029/上期内に実行することが明らかな投資の予定金額と、適正な運転資金を確保した上でなお、余剰資金が生じた場合は、その余剰資金を株主をはじめとするステークホルダーに還元していく

10-①. 事業戦略 ～エレクトロニクス～

事業ビジョン

メーカー機能を備えた
材料・部品商社として発展する

目指す姿

電子部品の進化に必要不可欠な
プロセス部材メーカーに

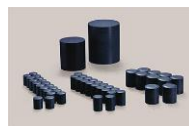
計画値 (億円)

	FY2025	中期経営計画2028		
		FY2026	FY2027	FY2028
売上高	215.5	230.0	235.0	243.0
営業利益	17.7	18.8	19.3	20.5

中期経営計画2028の主な取組み

収益基盤の維持拡大に向けた取組み

- ・更なる拡大が見込まれる生成AI関連市場をターゲットに、半導体材料、配線板材料の技術提案を継続



半導体材料



配線板材料

- ・メーカー事業の拡大

- ① 沖縄工場の増床と広島工場を有効活用し、ウエハ研磨キャリアの生産能力を増強



ウエハ研磨キャリア

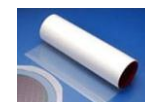
- ② レゾナック品（ハイエンド）、中国メーカー品（ボリュームゾーン）のラインナップを拡充し、ドライフィルムのスリット加工事業を拡大



ドライフィルム

更なる事業成長に向けた取組み

- ① 国内パートナーとのアライアンスによるフィルム加工事業の国内展開



- ② 接着材メーカーとのマスターバッチの共同開発による自社製接着材事業の拡大



- ③ 加工ノウハウを取得し、プロセス治工具やはんだ箔等の自社企画製品の開発

<機能強化への取組み>
最適なプロセス部材が提供できる
メーカー機能の強化（アライアンス含む）

10-②. 事業戦略 ～モビリティ～

事業ビジョン

Tier2メーカーから
Tier1.5メーカーへと進化する

目指す姿

自動車の電動化と自動運転技術
の進化に必要不可欠な
キーモジュールメーカーに

計画値（億円）

	FY2025	中期経営計画2028		
		FY2026	FY2027	FY2028
売上高	176.7	170.0	175.0	182.0
営業利益	11.6	11.1	11.5	12.0

中期経営計画2028の主な取組み

収益基盤の維持拡大に向けた取組み

- 内燃機関部品の需要継続と生産集約による増産対応に向けた生産レイアウトの調整と更なる歩留まりの改善
- ブレーキ部品やヒートポンプ部品など、動力源の種類に影響されない新たな製品の量産を確実に立ち上げ、自動車戦略のマルチパスウェイへ追従



自動化設備

- 計画的な内製設備による自動化の展開とデータ駆動型オペレーションの推進

更なる事業成長に向けた取組み

- ① 金属と樹脂の組み合わせ技術や、電磁制御技術を確立し、CASE領域（車載用センサー、電子制御部品等）のキーモジュールを開発
- ② 更なる需要拡大が見込まれるインド市場と北米市場のサプライチェーン、現地調達化への対応検討



<機能強化への取組み>

**キーモジュールの開発に必要な設計機能の強化と
最適な部品構造を実現させる自社技術の確立**

10-③. 事業戦略 ～医療・精密機器～

事業ビジョン

医療機器部品のOEMメーカーとして発展する

目指す姿

医療機器部品のOEMメーカーから
ODMメーカー（完成品）に

計画値（億円）

	FY2025	中期経営計画2028		
		FY2026	FY2027	FY2028
売上高	73.0	75.0	76.0	77.0
営業利益	7.0	7.0	7.2	7.5

中期経営計画2028の主な取組み

収益基盤の維持拡大に向けた取組み

- ・タイ（コラート工場）と稲沢工場における医療機器部品量産の品質維持活動と部材の安定調達
- ・計画している新規製品の確実な量産立上げ



医療機器部品



医療ロボット用部品

- ・生産現場における改善活動と、顧客フォーキャストに合せた適正人員へのコントロールによる原価低減活動の継続と収益改善

更なる事業成長に向けた取組み

- ① 新規顧客の獲得による量産製品の追加
- ② 医療ロボットユニットやパートナーとの協業による生体適合材料を組み合わせたキーモジュールの開発とソリューション提案

<機能強化への取組み>

**医療機器部品のODMメーカーとして必要な
自社開発機能と、認証取得や品質保証が
できる評価・解析機能の取得**

10-④. 事業戦略 ～Ecoプロダクツ～

事業ビジョン

Ecoプロダクツ事業を
第4の事業の柱に成長させる

目指す姿

環境貢献に寄与する
ニッチ部材のリーディングメーカーに

FY2031へのロードマップ

※ Ecoプロダクツの業績目標は、収益基盤が
整い次第、お知らせいたします



中期経営計画2028の主な取組み

収益基盤の確立に向けた取組み

- ベトナム工場でのLIMEXペレット（TBM）の受託生産を軌道に乗せる



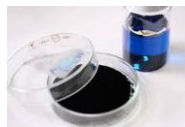
- 水素エネルギー関連部材の新規顧客開拓と受注拡大



イオン交換樹脂



水電解セル



AZUL触媒

- AZUL Energy社との共同開発と受託生産
 - 「AZULの触媒」技術を活用した、水電解、燃料電池、空気電池のキーモジュールとなる「電極」の共同開発
 - 高性能・高安全性を備えた、次世代空気電池の共同開発
 - これらの受託生産に向けた準備活動

＜機能強化への取組み＞

**空気電池関連事業の立上げに向けた、
量産体制の整備と品質保証体制の構築**

【参考】 中期経営計画2028 ～セグメント別目標～



■セグメント別目標（3カ年計画値）

（単位：億円）

		実績	計画		
		FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
エレクトロニクス	売上高	215.5	230.0	235.0	243.0
	営業利益	17.7	18.8	19.3	20.5
モビリティ	売上高	176.7	170.0	175.0	182.0
	営業利益	11.6	11.1	11.5	12.0
医療・精密機器	売上高	73.0	75.0	76.0	77.0
	営業利益	7.0	7.0	7.2	7.5
全社費用・調整額他 (新規事業開発費含む)	売上高	△ 1.2	△ 2.0	△ 2.0	△ 2.0
	営業利益	△ 15.6	△ 16.4	△ 16.5	△ 17.0
連結合計	売上高	464.0	473.0	484.0	500.0
	営業利益	20.7	20.5	21.5	23.0
			(3カ年 累計営業利益) 65.0		

※ FY2028までのEcoプロダクツの計画値は影響として軽微なため、他セグメントの計画値に含んでおります。

日邦産業株式会社
経営企画部 水口、藤浪、森

電話 : 052-212-8726
HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、前頁の本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル = 150円、1タイバーツ = 4.5円で計算しています。